

2024  
vol.63  
no. 4

# 写真測量とリモートセンシング

小特集 「NeRF と 3D Gaussian Splatting」

## 目次

〈巻頭言〉 空間情報をコアにしたデジタル空間社会へ	関本義秀	115
〈カメラアイ〉 航空レーザ測深最新機材 (HawkEye-5) の導入	金田真一, 實村昂士	116
〈小特集〉 NeRF と 3D Gaussian Splatting ～機械学習による多視点画像からの3次元モデル再構築技術～		118
〈原著論文〉 マラソン中継のための深層学習を用いた 選手のパフォーマンス分析に関する研究 岩本達真, 山本雄平, 鳴尾丈司, 田中成典, 森 泰斗, 青木大誠		143
〈解説〉 ALOS-4 PALSAR-3 の初画像取得と公開について 伊藤奎政, 大木真人, 田殿武雄, 本岡 毅, 有川善久, 勘角幸弘		156
〈活動報告〉 手持ちレーザスキャナ (SLAM) 講習会 活動報告 ～7月5日好評のうちに終了/ 9月に UAV レーザ & 写真測量講習会を予定～	大谷仁志	161
〈活動報告〉 ISPRS 第2部会中間年シンポジウム報告 布施孝志, 高橋元気, 林 雨亭, 李 勇鶴, 坂元光輝		164
〈活動報告〉 ISRS 2024参加レポート	寫田将貴, 内藤千尋	166
〈文献抄録〉 REMOTE SENSING OF NIGHT-TIME LIGHT	藤原 匠	170
〈文献抄録〉 Generative Image Dynamics	蘇 姝	172
〈会のうごき〉		173
〈投稿要領・執筆要領・原稿送付状〉		174

表紙説明：国土地理院は、最新の航空レーザ測量データを基に作成した基盤地図情報（数値標高モデル）1mメッシュ（標高）の提供を、令和5年11月30日に開始した。メッシュサイズ1mは、これまで提供してきた5mメッシュに比べて25倍、10mメッシュに比べて100倍の分解能を持ち、より細かな土地の状況を表すことができることから、更に精度の高いシミュレーションが可能となり、ハザードマップの浸水想定や土砂災害警戒箇所の抽出精度の向上などが期待される。本表紙画像は、新たに提供を開始した1mメッシュの標高データの細かさを視覚的に示すため、これまで提供されてきた5m及び10mメッシュの標高データと隣り合う場所で連続的に上段から下段へ並べて表示したものである。

本学会のホームページを開設いたしておりますのでご覧下さい。

<https://www.jsprs.jp>

E-mail: [office@jsprs.jp](mailto:office@jsprs.jp)

### 編集委員

委員長	織田和夫	(アジア航測(株))
委員	石塚直樹	(農業・食品産業技術総合研究機構)
	上村治睦	(リモート・センシング技術センター)
	木寺幸司	(南海測量設計(株))
	窪田 諭	(関西大学)
	白井直樹	(朝日航洋(株))
	高橋元気	(国際航業(株))
	高橋陪夫	(宇宙航空研究開発機構)
	近津博文	(東京電機大学)
	沼田洋一	(アジア航測(株))
	野口真弓	(国土地理院)
	藤野千和子	(日本写真測量学会)
	布施孝志	(東京大学)
	政春尋志	(元 東洋大学)
	吉野邦彦	(東京大学)
	李 勇鶴	((株)パスコ)
	力丸 厚	(長岡技術科学大学)